

反核平和ニュース

長崎民医連反核平和委員会

祝核兵器禁止条約発効！

全日本民医連主催・新署名推進オンライン集会在開催されました

署名提出と学習会、各地からの報告と、短時間(1時間)で盛りだくさんの内容でした。長崎からは研修担当の佐田さんが長崎からの報告を行いました。参加した友の会事務局・森さおりさん(県連反核平和委員)からの報告です。

1月22日に発効した「核兵器禁止条約」の高揚感の中、2月5日に全日本民医連反核平和委員会主催の学習会が開かれ、Webで参加しました。

被爆地広島民医連からは「条約発効」歓迎を、ロウソクによる静かなパフォーマンスで行った様子、若手医師からは、「反核医師の会」として長崎を訪れ学習した事、NPT会議への参加ではニューヨークで浴衣を着て署名を集めた事が報告され、この「核兵器禁止条約発効」が被爆者とともに各地で積み重ねられた行動の結果だとあらためて感じました。長崎からは上戸町病院の佐田さんが各院所、事業所で行った発行までのカウントダウン掲示を紹介。1月18日から22日までカウントダウンのサイレント集会を毎日開催し、延べ100以上の参加者で市民にアピールした事、そして発行の日、稲佐山の電波塔が祝福のライトアップをした映像は、いろんな事を乗り越えて長崎市民が同じ想いでこの日を歓迎している象徴として紹介されました。

核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)国際運営委員:川崎哲(あきら)さんはこの日の講演の中で、これまで力の象徴

であった核兵器は、この条約発効で“恥”の象徴になった。条約の項目にヒバクシャ援護が国際法上の義務になった。この事は、被爆国の日本が経験として、どういった援助が必要なのか、これまでの苦難を世界に伝える番なのだと語られました。

この事が実行された時に、原爆を経験させられた人、声もあげられずに死んでいった人たちが、はじめて報われるのだなど、日本を批准国にしなければならない重みを感じた講演でした。



大浦診療所・友の会会議室を会場に8名が参加しました

「日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める署名」も(やっと)スタートしました！



大浦ブロックでは「9の日行動」でこの署名に取り組みました。この間ニュースでもだいが取り上げられていたので「核兵器禁止条約」の名前をご存じの方はそこそこおられて、反応はよかったですと思います。署名をしていただけない人もおられますが、そういった方々にどのように訴えていくかが課題です。30分足らずで17筆が寄せられました。まだまだ宣伝物も手づくり感満載のものしかありませんが、徐々に充実させていきます。必要な事業所はご連絡ください。皆様のご協力をよろしくお願いします。



2021.2.9

4月からの平和公園署名 長崎民医連主催で行います

長崎原水協の主催で行っていた平和公園署名ですが、しばらくは長崎民医連独自に取り組んでいくこととしました。毎月第1日曜日10時から行います。各事業所で計画を立ててください。たくさんの参加をお待ちしています。

●長崎民医連平和アクションプラン●

長崎民医連第30期の平和アクションプランを作成しました。年度の職場目標、個人目標の参考にしてください。

個人目標では、例えば・・・

- 核兵器禁止条約の署名を50筆集める
- 平和公園の署名に年1回以上参加する
- 患者さんに戦争のころのことを最低1名聞いてみる
- 被爆遺構フィールドワークに年1回以上参加する
- 長崎民医連の平和学校の受講生になる・・・などなど。

いかがでしょうか。取り組めるものからやってみましょ。

ポスターで貼り出すほか、リーフを配布します→

**長崎民医連
平和アクションプラン**
第30期 長崎民医連反核平和委員会

- 長崎原爆地下・第二次世界大戦終戦から三四半世紀、改めて「継承」に力を入れよう。
- 日本政府に、核兵器禁止条約に署名・批准するようにはたきかけよう。
- 身近な被爆遺構・戦跡を回り、語れるようになろう。
- コロナ禍で得た「命どっ宝」を平和への想いにつなげよう。
- 平和の課題と環境問題：環境を守るために一人ひとりが当事者として立ち上がり、行動を起こそう。
- 長崎民医連平和学校を開催しよう。

長崎民医連反核平和委員会